

BSC Series ブラインドサイドカメラ

BSC261-S
BSC262-M
鏡像/正像出力切り替え可
ドルフィンアイ
BLIND SIDE CAMERA

取付説明書

このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

重要

●必ず車体の最外部からはみ出ない位置に取り付けてください。車体の最外部からはみ出してしまうと全幅が変わってしまうため、構造等変更や車検証の記載事項の変更手続きが必要になります。

ご相談窓口

サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
お電話 086-486-0442
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:30
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ(PC)

<https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

メールでのお問い合わせ(スマートフォン)

<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>

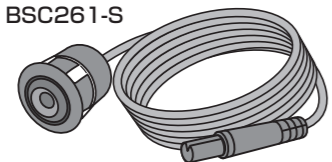
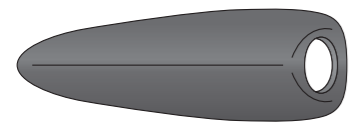


Data System 株式会社 データシステム

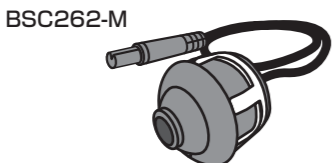
■ [本 社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11
弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。
BSC Series-1710-AKN

内容物一覧

- ブラインドサイドカメラカバー × 1
- サイドカメラ本体 × 1



- 電源ハーネス × 1



※電源ハーネスは必ず付属品をご使用ください

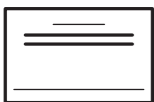
- コードクリップ × 6



- ピン端子ケーブル × 1



- 脱脂クリーナー × 1



- 正像/鏡像切り替えコネクタ × 1

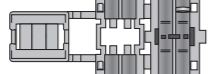
※電源ハーネスに取り付けられています



- 防水ラバー × 1

- エレクトロタップ × 2

- ブチルゴム × 1



- 結束バンド × 5

- カメラカバー固定用両面テープ × 2

- ブラインドサイドカメラキット取付説明書(本書) × 1

- 保証書&ユーザー保証登録カード × 1

本製品は日本仕様車専用で設計されています。故障や事故などの原因となりますので、海外仕様車への取り付けは絶対におこなわないでください。また、日本国外での取り付け、販売および使用を禁止しています。日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いません。

注意事項の定義について

注意事項は「**危険**」、「**注意**」、「**警告**」、「**重要**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
注意	守らないと、車両及び製品を破損または故障させる恐れがあるもの
警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

使用上の注意

- 運転者が走行中に画像表示装置(TV画面など)を注視することは、道路交通法で禁じられています(道交法第71条)。
- ▲カメラ映像は、ドアミラーやバックミラーなどと同様にあくまで車の安全をサポートするためのものです。本製品使用時は必ずドライバー自身が直接周囲の安全確認をおこなってください。
- カメラ映像は、視野角やレンズ形状などから実際の距離とは距離感が異なります。
- カメラに電源が入った直後や、カメラの使用中にカメラ映像の明るさや色あいに変化することがありますが、これは周囲の明るさをカメラが検知し映像補正するために発生する症状ですので、故障ではありません。
- ▲自動洗車機などによる高圧洗浄はおこなわないでください。内部に水が浸入して故障の原因となる場合があります。
- 本製品のカメラ本体は、必ずカメラカバーとセットで車両に装着してください。
- 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

保証について

- 付属の保証書に必要な事項をすべてご記入ください。特に販売店印およびご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。
- ※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります(保証対象はカメラ本体のみ。カメラカバーは保証対象外です)。
- ※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
- ※保証規定は保証書を参照してください。
- ※保証書はいかなる理由があっても再発行いたしません。あらかじめご了承ください。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、6年間に設定しています。
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

仕様

BSC261-Sカメラ部

有効画素数	約32万画素	水平解像度	約500TV本
水平画角	100°	垂直画角	80°
TVシステム	NTSC	電源電圧	DC9～15V
消費電流	約40mA	動作可能温度	-20℃～+65℃
出力タイプ	正像/鏡像	表示ガイドライン	なし
ヒューズ	1A		

BSC262-Mカメラ部

有効画素数	約32万画素	水平解像度	約450TV本
水平画角	110°	垂直画角	80°
TVシステム	NTSC	電源電圧	DC9～15V
消費電流	約40mA	動作可能温度	-20℃～+65℃
出力タイプ	正像/鏡像	表示ガイドライン	なし
ヒューズ	1A		

取り付け上の注意

- 本製品は12V車専用です。
- ▲電源ハーネスは必ず付属品を使用してください。付属品以外は使用できません。
- ▲製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取扱い業者でおこなってください。
- ▲取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。ただし、バッテリーマイナス端子を外す前に、オーディオ機器などの設定内容をメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法については機器の取扱説明書をご参照ください。
- ▲車両側および本製品の配線を傷つけないよう、配線の取り直しには十分ご注意ください。また、車内に水が浸入しないよう適切な配線処理をおこなってください。
- ▲本製品の分解や改造は絶対におこなわないでください。
- ▲車体から脱落しないようしっかりと装着してください。
- ▲電源ハーネスは切断して使用しないでください(延長は可)。電源ハーネスには電源回路およびヒューズが接続されていますので、これらを切断してしまうと正常動作しなかったり車両側の故障の原因となります。
- 取付説明書に記載されている方法以外の取り付けは絶対におこなわないでください。
- 付属のピン端子ケーブルの長さが足りないときは、別途延長ケーブルをご用意ください。

カバーの塗装について

- ▲本製品のカバーはウレタン製です。塗装するには専門の知識が必要ですので、塗装する際は専門業者に依頼してください。

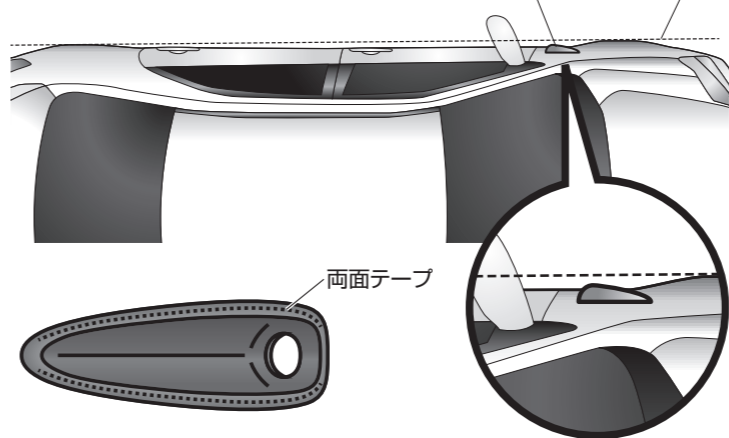
メンテナンスについて

- ▲カメラ本体およびカメラカバーは、ベンジン・シンナー・ガソリン・アルコールなど揮発性がある薬品類で拭かないでください。変質・変形などの原因となります。
- ▲カメラのレンズは定期的にはまたは汚れていたらきれいに拭いてください。ただし、拭く際は柔らかい布などに水を含ませ軽く拭く程度にしてください。強くこすったり乾いた布などで拭くと傷の原因となります。

本製品を取り付ける前に

本製品を取り付ける前に、必ず以下についてご確認ください
準備するもの ・テープなど(マーキング用) ・糸(5mほど)

車両を真上から見た図 ブラインドサイドカメラカバー

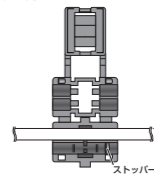


1. フロントフェンダーの最外部をテープなどでマーキングする
2. クォーター(リアフェンダー)の最外部をテープなどでマーキングする
3. フロントフェンダーのマーキング位置とクォーターのマーキング位置を糸で繋ぐ
4. ブラインドサイドカメラカバーに同梱の両面テープを貼り付ける
※付属の脱脂クリーナー等を使用し十分に脱脂してから貼り付けてください。
※両面テープの保護シートはまだ剥がさないでください。
5. ブラインドサイドカメラをフロントフェンダーの装着予定位置に当て、ボディと糸との間に収まるかどうかご確認ください
収まる場合は取り付けできます。
収まらない場合は装着位置を変更し、必ず収まるように取り付けてください。

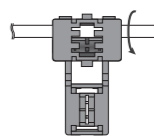
エレクトロタップの使い方

接続後、テスターを使用して確実に接続されているか確認してください。接続が不完全の場合、動作不良の原因となります。

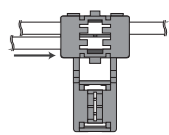
1. 接続される車両側配線にエレクトロタップを合わせる



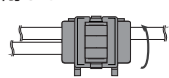
2. エレクトロタップのカバーをしっかりと閉じる



3. 接続する配線をエレクトロタップのストッパーに当たるまで差し込む



4. エレクトロタップの接続用カバーをツメのロックがかかるまでしっかりと閉じる



鏡像/正像切り替えについて

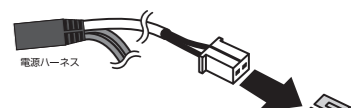
通常は「鏡像」で使用しますので、正像/鏡像切り替えコネクタは電源ハーネスに取り付けたままご使用ください。

鏡像で使用する場合



正像/鏡像切り替えコネクタを取り付けます。

正像で使用する場合



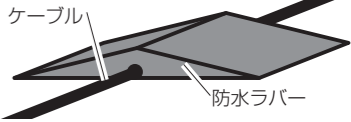
正像/鏡像切り替えコネクタは使用しません。

カメラに電源が入った状態で、正像/鏡像切り替えコネクタを取り付けたり取り外したりしないでください。

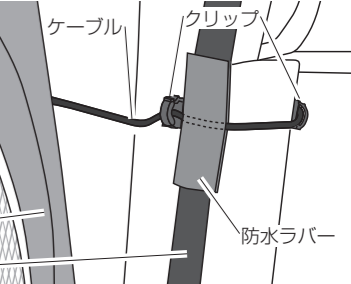
防水ラバーのつかいかた

車体とドアの間からカメラケーブルを引き込む場合は防水ラバーを使用します。

1. 防水ラバーにカメラケーブルをはめ込む



2. 図のようにウェザーストリップに防水ラバーを当て、両端のケーブルを同梱のコードクリップで固定する



※必ずドアを閉めた状態で水が入り込まないことを確認してください。

使用方法

通電するとピン端子ケーブルからカメラ映像を出力します。ナビや市販モニターなどに接続してご使用ください。

純正ナビで使用する場合、当社製TV-KITまたはTV-NAVI KITが別途必要です。これらを使用しないと、走行中にカメラ映像を画面で確認することができません。

故障かな?と思ったら

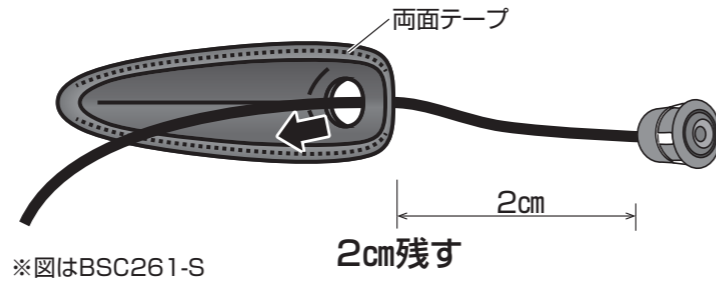
カメラ映像が表示されない。

- ・電源ハーネスは正しく接続されていますか?
- ・ピン端子ケーブルが正しく接続されていますか?
- ・電源ハーネスのヒューズが切れていないかご確認ください。
- ・接続しているモニターが正常かご確認ください。ナビやモニターの仕様によってはカメラを連動させるための初期設定や手動での画面切り替えが必要になる場合があります。

ブラインドサイドカメラ装着方法

1. ブラインドサイドカメラカバーの穴にカメラケーブルを通す

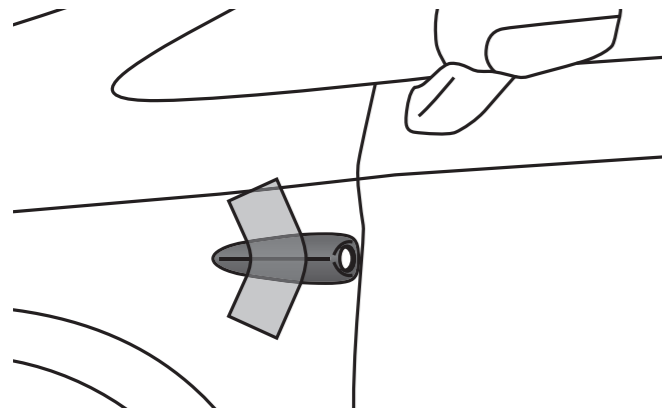
- 重要** ●この時点ではカメラカバーの穴にサイドカメラ本体をはめ込まず、ケーブルを2cm程度残してください。はめ込むとカメラの角度調整ができなくなりますのでご注意ください。



※図はBSC261-S

2. ブラインドサイドカメラカバーの貼り付け位置を決める

- ※カメラが図の範囲を映せる位置をお選び下さい。
 ※カメラケーブルを車体内側に引き込める位置をお選び下さい。
 例:フェンダーとドアの隙間から引き込む。



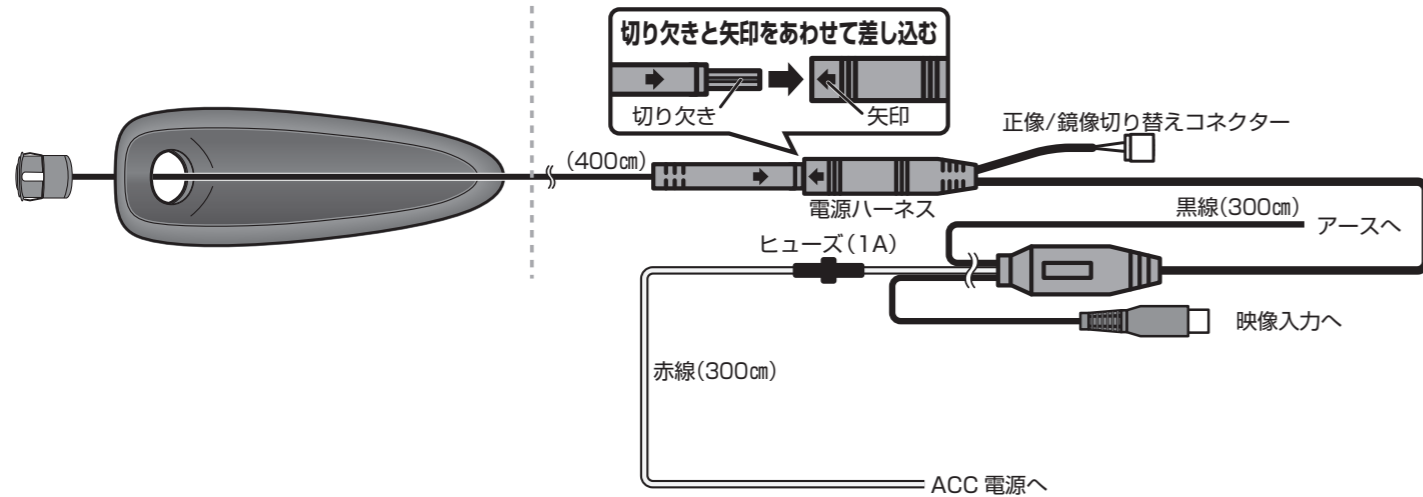
ブラインドサイドカメラ
視野範囲画角イメージ

ドアミラー視野範囲画角イメージ

接続方法

※図はBSC261-S

車外 車内



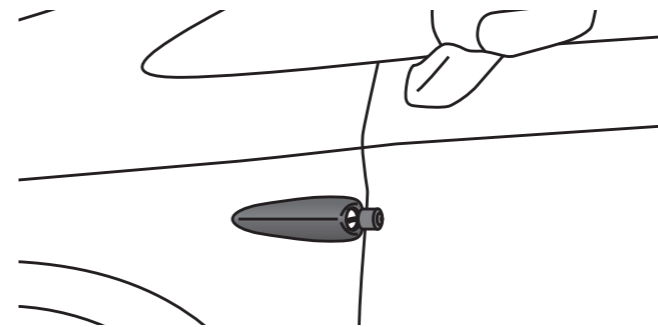
取り付けのあとに

車両の装備によって、バッテリーのマイナス端子を外すと、設定が消去されて動作しなくなるものがあります。その場合は次の方法で初期設定をおこなってください。

パワーウィンドウ	それぞれのドアスイッチで全開状態から全閉状態にし、さらに5秒以上、閉方向に操作し続ける
電動スライドドア	スライドドアを手動で全開、全閉する
サンルーフ	ルーフ動作が一巡するまでチルトアップボタンを押し続ける
バックガイドモニター	平坦な場所に停車し、バックモニターを表示させた状態で左右両側にステアリングを一杯に切る
パワートランクリッド	トランクを手動で全開、全閉する

3. カメラケーブルを車内に引き込める場所を探す

4. 車体のブラインドサイドカメラカバー貼り付け位置を付属の脱脂クリーナーなどで脱脂後、ブラインドサイドカメラカバーを車体に貼り付ける



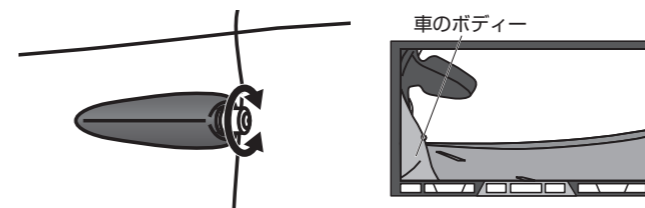
5. カメラケーブルを車内に引き込む

※車両のハーネスを車内に引き込んでいる穴の脇から引き込む際は、付属のプチルゴムなどを使用して防水処理してください。

カメラの角度を調整する

BSC261-Sの場合

1. 車両を水平な場所に停車させる
2. ナビまたはモニターにカメラの映像を表示させる
3. カメラカバーにカメラを半分差し込む
4. カメラの映像を確認しながら、最適な角度になるようにカメラ本体を回転させる



5. カメラカバーにカメラ本体をしっかりと押し込む

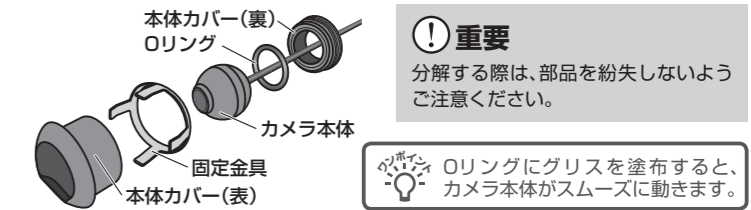
- 重要** ●カメラ本体の取り付け角度が変わらないように押し込んでください。

6. 取り外したパネル類を元に戻す

カメラの角度を調整する

BSC262-Mの場合

本製品のカメラ部は、下図のようにカメラ本体をOリングに押し付けて固定する構造になっています。本体カバーの締め具合で、カメラ本体の動きを加減できます。

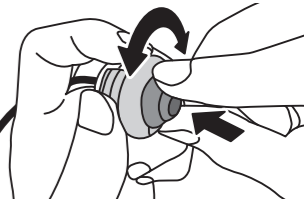


- 重要**
 分解する際は、部品を紛失しないようご注意ください。

Oリングにグリスを塗布すると、カメラ本体がスムーズに動きます。

カメラ本体が適度な手の力で動くか確認します。

カメラ本体を軽く押すと、動きやすくなります。



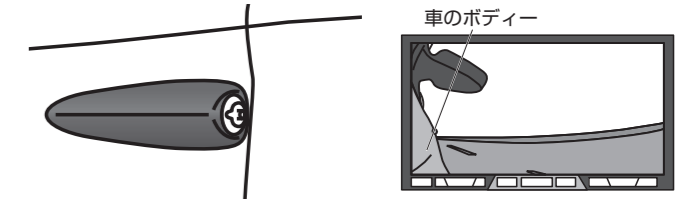
動かない場合や、軽い力で動いてしまう場合は、本体カバーを回転させて調整します。



1. 車両を水平な場所に停車させる
2. ナビまたはモニターにカメラの映像を表示させる
3. カメラをブラインドサイドカメラカバーに差し込む

カメラのくぼみを外側に向けます

4. カメラの映像を確認しながら、最適な向きになるようにカメラの角度を調整する



5. 取り外したパネル類を元に戻す